アダムとアダム

大河内健詞

［登場人物］
男１～４

［衣装］
葉っぱ。

男１　私は、アダムである。
男２　私は、アダムである。
男１　お前も、アダムなのか。
男２　私も、アダムである。
男１　お前の葉っぱは、私の葉っぱより大きい。しかし、お前自身が私より大きいことを意味しない。
男２　お前の葉っぱは、私の葉っぱより小さい。しかし、お前自身が私より小さいことを意味しない。
男１　アダム、イブを連れてこい。
男２　イブを連れてこよう、アダム。
男１　私にはコンプレックスがある、それは私の葉っぱが小さいことだ。しかしそれは私自身が
男２　アダムよ。イブを連れてきたぞ。
男１　お前が、イブなのか。
男３　残念、アダムである。
男１　アダムなのか。
男２　アダムなのか。
男３　残念ながらアダムである。
男１　（男３に）お前の葉っぱは、私の葉っぱより一回り大きい。
　　しかし、お前自身が私より一回り大きいことを意味しない。
男３　お前の葉っぱは、私の葉っぱより一回り小さい。
　　しかし、お前自身が私より一回り小さいことを意味しない、ことはない。
男１　アダム。
男２　アダムよ。
男３　私はアダムである。
男１　アダム、イブを連れてこい。
男３　イブを連れてこよう。アダム。
男１　（男２に）アダムよ。
男２　アダムか。
男１　アダムだな。
男２　確かに、アダムだ。
男３　アダムよ。イブを連れてきたぞ。
男１　お前が、イブなのか。
男４　残念、アダムである。
男１　アダムなのか。

男２　　アダムなのか。
男３　　アダムなのか。
男４　　残念ながらアダムである。
男１　　アダムだな
男２　　アダムだな。
男３　　アダムだな。
男４　　（男１に）お前の葉っぱは、私の葉っぱより圧倒的に小さい。
　　しかし、お前自身が私より圧倒的に小さいことを意味しない、ことはない。
男１　　アダム。
男２　　アダム。
男３　　アダムよ。
男４　　私は、アダムである。
男１　　アダムか。
男２　　アダムか。
男３　　アダムか。
男４　　アダムだ。
男１　　アダムだけだな。
男２　　アダムだけだな。
男３　　アダムだけだな。
男４　　アダムだけだ。

暗転、小鳥のさえずり
男１が立っている

男２　　おはよう、アダム。
男１　　アダムだな。
男２　　私は、イブである。
男１　　お前は、イブなのか。
男２　　べりべりべリ（顔から何かはがす音）、残念、アダムである。
男１　　アダムか。（去る）
男２　　私はアダムである。
男３　　おはよう、アダム。
男２　　アダムか。
男３　　私は、マダムである。
男２　　お前は、小綺麗な婦人なのか。
男３　　べりべりべり、残念、アダムである。
男２　　アダムか。（去る）
男３　　私はアダムである。
男４　　おはよう、アダム。
男３　　アダムだな。
男４　　私は、貯水率が１０％である。
男３　　早明浦ダムか。
男４　　べりべりべり、残念、アダムである。
男３　　アダムか。（去る）

男４　私は、アダムである。
男１　おはよう、アダム。
男４　アダムか。
男１　私は、男性用化粧品である。
男４　マンダムか。
男１　べりべりべり、アダムである。
男４　アダムか。
男１　私はアダムだ。
男２　アムロ、いきまーす
男１　ガンダムか。
男２　べりべり、アダムだ。
男１　アダムか。
男２　私はアダムである。
男３　13, 8, 45, 9, 23, 4…
男２　ランダムか。
男３　べり、アダムだ。
男２　アダムか。
男３　私はアダムなのだ。
男４　１０万〜馬力だ〜鉄腕〜アダムである。
男３　アダムか。
男４　アダムだ。
男１　パプアニューギニアで、裸族に出会ったあ〜
男４　誰だ。
男１　下條アトムだ。…べり、アダムだ。
男４　アダムか。
男１　アダムだ。
男２　べり、アダ…べりべり、アダ（ぐだぐだする）
男１　アダムか。
男２　アダムだ。
男３　葉っぱでございまする！最後の砦でございまする！
男２　さっきのか。
男３　べりべり、アダムだ。
男２　アダムか。
男３　アダムだ。
男４　（齧られた林檎を持って）こうしてくだらないことを繰り返して死に近づいていくだけだと思うと空しくなる
男３　アダムか。
男４　…私はアダム、なのか。